

セルフレジ不正を防止

最新テクノロジーと店の対策をテーマにセミナー

J E A S

日本万引防止システム協会東京都新宿区、稲本義範会長、Tel.03・3355・2322、以下、J E A S）は、東京ビッグサイトで開催された「営業・マール／広告・販促ノ店舗・EC EXP O」で8月25日にJ E A S セミナー「セルフレジ不正をどう防止するか」最新テクノロジとお店でできる対策集」と題する

セミナーを開催した。スピーカーなどでセルフレジの設置が増える一方で、ロス率も増加しており新たな問題となっている。今回のセミナーではJ E A S が作成した「セルフレジ不正のための冊子」が初公開され、聴講者が高い関心を示した。海外で先行するセルフレジだが、日本でも採用が進むことが予想され

る。だが、EC R Y O ロックの2018年調査によれば、セルフレジの売上構成比が1%増えるとロスも0.01%増えると報告されており、日本でもセルフレジの普及とともに、ロス率が増加する懸念がある。既に、日本のスーパーではセルフレジが万引き犯罪で悪用されるケースもあり、店側で

は適切な対策を講じる必要がある。今回のセミナーで公開された「セルフレジ不正のための冊子」では、セルフレジの種類や不正手口とともに不正対策が紹介されている。店側で理解しておくべき内容が網羅されており、セルフレジ不正対策に着手する上で有益な内容となっている。



セミナーの様子